

卷八

南唐李煜

李氏

[illegible]

重刊四庫全書

主功在知不足而日新其德之謂也

即見
即牙

何處有子長生之仙

萬代歌

幸勿受第之厄誠希第將有厄也謹言

平陽府志卷之五

卷之六

丁巳年

游

喜 留市

留市

終所風雲卷
菊香分左主名公

王作忠

古く是れ人子去りて
 内子過りて
 白く大玉おのり
 下へて
 中へて
 下へて

一
五
百
五
十

金鑑

四日

丹

[illegible]

此乃我之生平也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也

此乃我之生平也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也

一

此乃我之生平也

此乃我之生平也

一

此乃我之生平也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也
仁人君子之德也

夢野久石

張

福西雁名
 湯島所
 古七年
 古七年

古之

古

市方心誠志を以て世に
 此れを先程七重八重の
 身は心は向ふ事多し
 是等の心は向ふ事多し
 心は向ふ事多し

[illegible]

此乃名之曰地也
 此乃名之曰地也
 此乃名之曰地也

[illegible]

15
17
18
19

丹作

[illegible]

經河經
谷作付
戶北橋吊牌
香台
萬安寺

男
王三才

二末
南唐平家

[illegible]

劉省

[illegible]

王羲之

王健 敬啟

丙午年
 庚子月
 壬子日
 壬子時
 壬子時

蘇軾詩一首

極少之書也

有以之為
學也

龍馬寺と抄印の松子古本

龍吟子と共坪の松子歌う

生於五如之天子之

此乃元朝之世

此乃

日之松立村中日雨生始庭物生

口二松立中石可
子休云子休云
此云安石也
事如左
子休云

子思子之說上章論也
子思子之說上章論也

少子如也

社之室乃中

千言萬語不如一見

千とまゝに
て

下

卷之五

卷之五

張之洞

九、一、如左三行、
一、初之

車一丸
川死公之立
下云

[illegible]

先之
臨
十
村
臨
山
北
氣
保
由
不
去

卷之八 山陰縣志

蘇軾詩集卷之四

This image shows a blank page with severe vertical banding and horizontal streaking artifacts, likely due to scanning issues or damage to the original document. There is no legible text or identifiable figures present.

[illegible]

1

此後千一に於ては、
此れを千一に於ては、
此れを千一に於ては、

一

一

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

約千一に於ては、

四月

一

母

一

一

後三子侍父老終
年終
四子

一 子

子

子

一 子

子

一 子

子

一 子

子

一 子

一 子

子

一 子

子

一 子

子

子

子

子

清原公家

三月十日 春の初め 春の初め

北の山 春の初め 春の初め

東の山 春の初め 春の初め

西の山 春の初め 春の初め

南の山 春の初め 春の初め

三月十日

清原公家

月夜 春の初め 春の初め

晴文 春の初め 春の初め

雨文 春の初め 春の初め

月夜 春の初め 春の初め

晴文 春の初め 春の初め

三月十日

清原公家

一 春の初め 春の初め

二 春の初め 春の初め

三 春の初め 春の初め

四 春の初め 春の初め

五 春の初め 春の初め

一

[illegible]

賢子

竹中集

一、高橋下（長年）
新治川（長年）
山崎（長年）

[illegible]

四月九日

十

五子成生

之土不勝其

前日之...

法政學部

名譽

不亦宜乎

合去者清公
一之安之
之安之
之安之

中火下焦之氣如膏之平之

吾儕之書也

高江望公詩集卷之五

小縣招博後在壯志慨乎來矣

今中者又、善公内德之、

卷之五

丙子

南唐書卷之六

王羲之草书

光

一、
里外社
多
記
之
乃
言
錄
者

少頃朴正之友子休之誦并結七律

[The page contains extremely faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side.]

[illegible]

此の通り一交り付はるゝと
下中へいし日計社
松原公事下

市書となきなり斗下
中上

此志
作社之如所 彦根公事

一市書となきなり斗下
日計社之如所

向より向はるゝと
市書となきなり斗下
日計社之如所
彦根公事

一市書となきなり斗下
日計社之如所

四月

十日

晴 夜雨

母信

一 昨晨接母信云 弟在學堂讀書甚勤 且能自修 甚為欣慰 惟望弟能保重身體 勿使勞心過度 且學堂中若有同學 亦宜和睦相處 勿生口角 弟之學業 必能日有進步 母在此處 亦常為弟祈禱 望弟勿忘 母之愛也 此信 母手書 弟當收妥 勿失 弟之兄 謹啟

一 神皇正統記卷之六 中略 神武天皇
御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇

一 神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇

神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇

神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇

神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇
神武天皇御宇 神武天皇御宇 神武天皇御宇

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

一 中居士下之 漢書 卷之九 地理志

何事の爲に心を苦しむるや
此の世は夢の如きものなり
身を捨てては如何なる事ぞ
子と母とを別れん人
此の世は夢の如きものなり

一 此の世は夢の如きものなり

一 此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

一 此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

此の世は夢の如きものなり

四月十日

十

多金...
中...
...

...

...

...